

ほけんだより

3年生特別号

下作延小学校 保健室



「プライベートゾーン」についての授業を行いました



今回の授業では、まず男女それぞれにある大切な「プライベートゾーン」について知り、どうしてその場所を大切にしなければいけないのかを、みんなで考えました。後半は、安藤由紀さん作『いいタッチわるいタッチ』（出版：復刊ドットコム）の絵本を使って、“気持ちいい・嬉しい・温かい・ホッとする気持ちになるタッチ”と、“痛い・怖い・腹が立つ・悔しい気持ちになるタッチ”の違いを学習しました。

また、「相手を大事に思うタッチ」とはどのようなものなのかを話し合い、もしわるいタッチをされたときには、「いやだ！だめ！ということ」、「にげる」、「おとなにはなす」といった、自分の身を守る行動についても確認しました。

【授業の様子】



児童の感想・ふりかえり

- 男の子と女の子の体はそれぞれちがって、大事な役割をもっていることがわかった。
- 赤ちゃんにかかわる大切な場所について知ることができて、おもしろかった。
- 自分の体を大切にするために、もっと体のことを勉強したいと思った。
- 友だちが喜ぶような“いいタッチ”を増やしていきたいと思った。
- “わるいタッチ”をされたら、ひとりでなやまずに、おとなに相談しようと思った。
- みんなが笑顔で過ごせるように、相手の気持ちを考えてすごしていきたいと思った。

今年度は性教育として、2,3年生に同じ内容の授業を行いました。同じ内容でも、3年生は2年生に比べて感じ方や受け止め方がより深まり、心の成長を感じる場面が多くありました。4年生では保健の授業で「思春期の体の変化」について学習します。年齢や発達段階に応じて、子どもの理解や関心は少しずつ変化していきます。それぞれの時期に合わせてながら、自分の心や体を大切にする気持ちを丁寧に伝えていきたいと考えています。ぜひご家庭でも、お子さんと一緒に、学んだ内容を振り返りながらお話していただけたらと思います。ご質問等ございましたら、保健室までご連絡ください。